

中学校 2年

自分の考えを根拠とともに説明できる！

枚方市立枚方中学校

教科

社会

単元名

産業の発達と幕府政治の動き

本時のねらい

享保の改革・田沼意次の政治・寛政の改革・天保の改革のそれぞれを比較し、最も優れた改革はどれか、根拠をもって自分の考えを説明できるようにする。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

Google Forms を活用して、課題に対する自分の考えを事前に入力することで、家庭学習とシームレスな学習につなげることをねらった。教科書や資料集だけでなく、インターネットでも情報を収集し、自らの意見に根拠を持たせる適切な資料を選択できるようにすることをねらった。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット PC
- ・プロジェクト
- ・Google スライド
- ・Google Forms
- ・Google Classroom

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○本時の学習課題を確認し、課題解決に向けての見通しを持つ。 ・享保の改革・田沼意次の政治・寛政の改革・天保の改革を比較し、最も優れていた改革だと考えるものを、根拠（資料）をもとに説明する。	・事前課題として Forms に記入した自分の考えをもとに、学習課題への見通しをもつよう促す。 ・根拠となる考えをまとめたり、インターネットからの情報をまとめる時には思考ツールである「PMI シート」(P:plus いいところ、M:minus ダメなところ、I:interesting おもしろいところ)の活用を参考にしよう伝える。
展開 (35分)	○班で交流しながらスライドで資料をまとめる。 ○まとめた資料を活用して、課題に対する考えを全体で共有する。	・友達に自分の考えを説明する時は、タブレット PC や参考資料を見せながら簡潔に説明することで、相手に伝わりやすくなることを伝える。 ・自分の考えを説明する時は、根拠となる資料を必ず用意しておくよう促す。
まとめ (10分)	○交流を通して気づいたこと等を基に、自分の考えを再構築し、再び資料にまとめる。	・Forms を活用して、自分の考えや学習内容を入力することで、事前課題として入力した自分の考えとの違いを比較する。 ・再構築した自分の意見を、Classroom で提出することで、生徒全員の考えを瞬時に確認することができ、個別の評価や事後の適切な指導へとつなげる。

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：インターネットから、自分の考えの根拠となる資料を探している場面

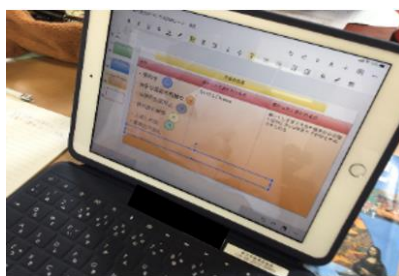


写真2：個人の考えを班で共有し、協働してスライドにまとめている場面



写真3：班でまとめたスライドを、画面に投影して説明している場面

児童生徒の反応や変容

- ・課題に対して、多くの生徒が教科書や資料集、インターネット等を活用して主体的に自分の考えの根拠となる資料を探ることができていた。
- ・前時に作成した PMI シートを効果的に活用することにより、自分の考えを整理する助けになり、自信をもって自分の考えを説明することができた。
- ・班交流や全体交流を通して友達の考えを聞き、思考がさらに深まった生徒が多く見られた。再構築した自分の考えを Forms に入力することで、集計結果を瞬時にフィードバックすることができ、全体の理解が深まった。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

4つの改革のうちどれを優れた改革とするかは、解釈の問題であるため、正解はない。考えの根拠となる資料を、既習事項やインターネットの情報から分析し、思考ツールで整理することで、順位の理由づけや自分の考えをより強固にすることができた。また、再構築した自分の考えをふり返りに記述することで、考えをまとめる力となることを意識するよう促した。友達の考えや意見を聞く中で、自分の考えについて再構築する時間をとり、相手にわかりやすく伝えることを大切にしている。